令和３年度（公社）石川県栄養士会研究発表会

要旨作成要領

要旨原稿は、データにて下記アドレスへお願いします。※12 月 22 日（水）必着

電子メールアドレス：　kenshu@ishikawa-eiyoushi.com

●原稿が届きましたら、内容を確認し（査読）、受取のメールを出しますので、受取メールの内容を必ずご確認下さい。尚、原稿の記載方法が下記の作成要領に沿っていない場合や、内容が本研究発表会にふさわしくない場合は受付けることができませんのでご了解下さい。

●要旨集原稿について　　（書き方・次頁例を参照）

抄録原稿については、いただいたものをそのまま印刷しますので、下記の要領でお願いします。

※1 ページに 2 演題を掲載します。

１．設定について　ワードでお願いします。

・ファイル（F）→ページ設定（U）→文字数と行数を指定する→文字数 42、行数 36　に設定し、16 行以下は余白とする。

２．タイトルについて

・12 ポイント MS 明朝で太字　（タイトル以外は 10.5 ポイント）

・先頭 2 マスあける（番号が入る）

３．全体のレイアウトについて

・10.5 ポイント

・タイトルと氏名は 4 行までとする。

・5 行目を空白にする。（氏名と要旨に行間をとる。）

・氏名の書き始めは 2 マスあけ、発表者に〇をつける

・要旨の書き始めは 6 行目から 15 行目まで（全角 42 字×10 行）とする。**16 行目以下は余白とする。**

※　タイトルと氏名で行数の占める割合が多い場合は、要旨を短くし、16 行以上にはならないようにする。

○○○○タイトル　　　書き始め２マスあけ、12 ポイント MS 明朝で太字とする

以下は 10.5 ポイント

氏名書き始め２マスあける　　発表者の先頭に○をつける　　（所属は（　）内に記入）

氏名と要旨の書き始めは１行あける

【目的】○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○【方法】○○○○○
○○
【結果】○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○
○○
○○○○【考察】○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○
【まとめ】○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○

＜例＞

12　加熱処理後の食用野草におけるヒアルロニダーゼ阻害活性

○△△　△△△、△△△　△△
（□□□□□□□□□）

【目的】近年、アレルギー症状を訴える人が年々増加している。アレルギーとは免疫学的機序で開始する過敏性反応であり、抗体または細胞が媒介する。ヒアルロニダーゼはヒアルロン酸の加水分解酵素で、広く炎症に関与する酵素であることが知られている。本実験では、ヒアルロニダーゼ阻害物の性質を知るため、食用野草の加熱処理におけるヒアルロニダーゼ阻害活性の変化を検討した。【方法】加熱乾燥、沸騰浴加熱、蒸気加熱、電子レンジ加熱、相乗効果についてヒアルロニダーゼ阻害活性試験を行った。【結果・考察】セイヨウタンポポなど4種は加熱処理を行うことによってヒアルロニダーゼ阻害活性が低下することが分かったが、沸騰浴加熱に比べ蒸気加熱のほうがヒアルロニダーゼ阻害活性の低下がおさえられた。ハハコグサはいずれの加熱処理においても低下がみられなかったため、様々な調理法が可能であると思われる。